

河川

加茂谷川

主要事業

河川改修

浸水被害の軽減を図るため、河川整備の基本となるべき方針に関する「河川整備基本方針」と、具体的な河川整備に関する「河川整備計画」に基づき、飯尾川や園瀬川など、吉野川水系の9河川、那賀川や岡川など、那賀川水系の5河川、立江川や福井川など、二級河川の8河川において、堤防や護岸の整備など、治水安全度の向上に向けた河川改修を実施しています。

また、河川改修後における従前の流下能力を確保・維持するため、河道掘削や樹木伐採を実施しています。



園瀬川整備状況



岡川整備状況

老朽化対策

高度成長期に建設された水門や排水機場などの大規模な河川管理施設は、老朽化等により一斉に更新時期を迎え、更新費用が増大する恐れがあります。このため、打樋川排水機場をはじめとする重要度の高い河川管理施設について長寿命化計画を策定し、予防保全型の維持管理を行い、ライフサイクルコストの縮減を図っています。



打樋川排水機場

地震・津波対策

撫養川や日和佐川、福井川など、高潮や津波の遡上により被害が生じる恐れのある河川において、堤防の高上げや液状化対策を行うとともに、水門の耐震化により震災時の死者ゼロの実現を図っています。



撫養川



堤防嵩上げ

流域治水

激甚化・頻発化する水害や土砂災害等に備えるため、あらゆる流域関係者が協働して、「流域治水」を推進していくことが求められています。

このため、県においては、令和4年5月までに県下全ての一級および二級水系で策定した「流域治水プロジェクト」のもと、河川・海岸堤防の地震・津波対策や無堤地区等での堤防整備などのハード対策に加え、確実な住民避難につなげるための河川監視カメラによる防災情報の発信や中小河川も含めた洪水浸水想定区域図の公表などのソフト対策が一体となった「流域治水対策」を実践し、あらゆる関係者とともに減災対策を推進していきます。



ダム

正木ダム、宮川内ダム及び福井ダムにおいて、その効用の継続的な発現のため、ダム管理設備の長寿命化や改良を進め、ダム機能の維持や向上を図っています。



正木ダム

環境保全

大津田川等において、地域の歴史や文化に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境を保全する河川整備、河川管理に取り組んでいます。



大津田川のオグラコウホネ(水草)

海岸保全施設の整備

海岸保全基本計画に基づき、今津・坂野海岸における大規模突堤整備等の侵食対策、鳴門海岸における破堤防止等の津波・高潮対策、日和佐港海岸等における防波堤等の改良等を実施しています。

さらに、穴喰海岸等における老朽化対策を実施することにより、防護・環境・利用への配慮はもとより、地域の特性を生かした安全で地域に親しまれる海岸づくりを図っています。



今津坂野海岸
(侵食対策)



鳴門海岸
(破堤防止対策)



直轄事業

気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、「流域治水」の考えに基づき、吉野川・那賀川水系において堤防整備や早明浦・長安口・小見野々のダム再生などの対策が進められています。

南海トラフ巨大地震に備えるため、旧吉野川・今切川、派川那賀川等において地震・津波対策が進められています。



吉野川「沼田箇所」



小見野々ダム

注目ポイント

吉野川・那賀川の大規模事業

●吉野川の整備

無堤地区の解消を図るため、吉野川では、美馬市美馬町「沼田箇所」、東みよし町「加茂第二箇所」、つるぎ町「半田箇所」、東みよし町とつるぎ町を跨ぐ「毛田箇所」等、旧吉野川では、松茂町「中喜来箇所」、「広島箇所」で堤防整備等が進められています。

旧吉野川・今切川下流域では、河川堤防の嵩上げ、液状化対策など、地震・津波対策が進められています。また、旧吉野川の「津慈地区」で多様な生物が生息・生育できる環境の創出が進められています。

●那賀川の整備

那賀川・桑野川流域では、無堤地区の解消、また那賀川では侵食対策や河道掘削等が進められています。桑野川下流域では、阿南市「原ヶ崎箇所」で河川堤防の嵩上げ・液状化対策の実施などにより、地震・津波対策が進められています。

那賀川流域の洪水被害の軽減、流水の正常な機能維持のため、長安ロダムでは堆砂除去や長期的堆砂対策の検討等が進められており、小見野々ダムでは実施計画調査が進められています。

また、多様な生物が生息・生育できる環境の創出が進められています。

